

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
AM11Z101		医療情報システム学 (Medical Information System) *大分を創る科目(Oita Development Course)					導入教育科目 導入・転換		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
必修	1	1	医学部医学科	前期	月4	日本語			複数(共同)							
担当教員	氏名 安徳 恭彰(5162), 岩城 貴史(5602)															
	E-mail antokuy@oita-u.ac.jp(安徳), iwaki48@oita-u.ac.jp(岩城) 内線 5162, 5602															
授業の概要	情報科学は情報に関する数理的な研究分野であり、医学をはじめ種々の分野でその考え方や技術が応用されている。本講義では医学データ処理を行うための情報科学の基礎力を育成する。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	Excelを使って数表を作る															
目標2	ソート・統計関数・グラフを用いた資料の分析ができる															
目標3	確率の計算を行える															
目標4	不偏分散や中心極限定理について説明できる															
目標5	情報セキュリティのための行動基準を説明できる															
目標6	医療現場における情報システムの利用例を挙げられる															
目標7	情報を集めて課題解決に取り組む															
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							3	1	1	2	1	2				
授業の内容																
1	医療情報システムの基礎としての情報科学															
2	Excelの基本的な使い方															
3	Excelで表を作る(エクセルによる演習1)															
4	情報セキュリティ															
5	度数分布と統計量															
6	資料の整理(エクセルによる演習2)															
7	医療現場における情報セキュリティ															
8	確率の応用															
9	二項分布と正規分布(エクセルによる演習3)															
10	医療と情報システム															
11	母集団と標本															
12	中心極限定理の確認(エクセルによる演習4)															
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認	エクセルによる演習では開始時に課題を提示する。各自で授業時間内に、自ら調べたり学生同士で相談したりしながら自由に課題の解決に取り組む。演習課題の解答はエクセルファイルでMoodle上に提出するものとする。				工 夫 そ の 他 の										
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	Moodle上で教科書の範囲を事前に指定されている場合は、よく読んで内容を理解しておく。(4時間)また、それ以外の場合についても、シラバスの内容を参考に関連のありそうな話題について調べものしておく。(4時間)														
	事後学修	演習課題については、授業時間内に終わらなかった場合は、事後学修として終わらせる。提出期限は1週間後とする。講義・演習の別にかかわらず、その日の授業内容について復習を行う(12時間)														
	想定時間合計	20														
教科書	まずはこの一冊から 意味がわかる統計解析 涌井 貞美(著) ベレ出版(2013年)(ISBN 978-4-86064-345-4)															
参考書	Excelで学ぶ統計解析入門 Excel2019/2016対応版 菅 民郎(著) オーム社(2020年)(ISBN 978-4-274-22641-0) EXCELの本当に正しい使い方 田中 亨(著) 日経BP(2021年)(ISBN 978-4296110353)															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	演習課題 1	10%										
	演習課題 2	10%										
	演習課題 3	10%										
	演習課題 4	10%										
	期末テスト	60%										
4 回ある演習の提出課題の評価を 4 0 %、期末テストの結果を 6 0 %として総合的に評価する。ただし、演習の提出課題のうち、提出されていないもの、あるいは白紙での												
注意事項	エクセルによる演習は情報処理実習室で行います。											
備考	パソコン（Excel）操作に不慣れな学生は、自習して授業に追いつくこと。											
リンク												
	URL											